

# 研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院・昭和大学藤が丘リハビリテーション病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

リバー型人工肩関節全置換術後の肩最大外転角と Scapula-45 撮影法における肩甲上腕関節機能の関係			
<b>1. 研究の対象および研究対象期間</b> 研究の対象は 2017 年 4 月から 2023 年 1 月までに昭和大学藤が丘病院で onlay type のリバー型人工肩関節全置換術を施行した患者さんです。			
<b>2. 研究目的・方法</b> 本研究の目的 Scapula-45 撮影法による単純 X 線画像を用いて onlay type のリバー型人工肩関節全置換術後患者さんの肩甲上腕関節機能を検討することです。 患者さんのデータは病院内のリハビリテーションセンターにて「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。			
<b>3. 研究期間</b> 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025 年 12 月 1 日まで			
<b>4. 研究に用いる試料・情報の種類</b> 身長・体重・年齢・利き手・既往歴・手術歴・医師および理学療法士による身体所見・X 線画像を調査項目とします。			
<b>5. 外部への試料・情報の提供</b> 該当いたしません。			
<b>6. 研究組織</b>			
研究責任者	昭和大学肘が丘リハビリテーション病院	リハビリテーションセンター	高橋 知之
研究分担者	昭和大学スポーツ運動科学研究所		田村 将希
	昭和大学 保健医療学部		野口 悠
	昭和大学 保健医療学部		前田 卓哉
	昭和大学肘が丘リハビリテーション病院	リハビリテーションセンター	阿蘇 卓也
	昭和大学肘が丘リハビリテーション病院	リハビリテーションセンター	井上 駿也
	昭和大学肘が丘リハビリテーション病院	リハビリテーションセンター	古山 駿平
	昭和大学 保健医療学部		西中 直也

昭和大学藤が丘病院 整形外科

古屋 貫治

昭和大学藤が丘病院 整形外科

磯崎 雄一

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター

氏名：高橋 知之

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2-1-1      電話番号：045-974-3665(入院リハビリ室)